

Title: 「明日は明日の風が吹く」



志村 賢一
1987年生まれです。
いつも失敗ばかりし
ている私ですが、海
外でもたくさん失敗
して行きたいと思
います。

● 最近のエントリー

- ☑ [笑いを掴む](#)
(2009.07.15)
- ☑ [モーチャルカンチュウ](#)
(2009.07.15)
- ☑ [Drチェンではありません。](#)
(2009.07.15)
- ☑ [低温多湿](#)
(2009.07.03)

● アーカイブ

- ☑ [2010年03月](#)
- ☑ [2010年02月](#)
- ☑ [2009年09月](#)
- ☑ [2009年08月](#)
- ☑ [2009年07月](#)
- ☑ [2009年06月](#)
- ☑ [2009年05月](#)
- ☑ [2009年04月](#)
- ☑ [2009年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

明日は明日の風が吹く > 2009年07月 アーカイブ

09.07.15

笑いを掴む

[Tweet](#)[Check](#)

取材をするにあたっていかに対象者と打ち解けるか、このことが大切になってくると思います。

そこで茶摘みの女性たちに僕がよく話していた言葉は、
まず『ナマステイー、バイニニー、タマンナムロウンメンチャ』と言います。
訳すと『こんにちは、お姉さん、今日もお美しいですね。』実際はみんなおばさんですが。

それから少し経ってから『モーチミライアマイアゴルチュウ』と言い、続けざまに、『モー
ティミライビヤールゴルチュウ』と言います。

これを言えばつかみはOKです。茶摘みの女性は大笑いです。

訳すと、
『モーチミライアマイアゴルチュウ』は『I love you』です。
この言葉はこちらでは『心から尊敬しています』という意味で使われます。
だから問題はありません。

もう一つ、
『モーティミライビヤールゴルチュウ』これはちょっとまづい言葉です。なにせ意味が『I will
marry you』ですから。



こんな言葉を僕に教えたのは工場の男性たちです。
『これを言えば間違いないから』って教えたのも彼らです。
彼らは冗談を言うのが日課みたいになっています。

それをまたまたホストファミリーのお母さんに話したら、
『あなたおばさんたちに、『モーティミライビヤールゴルチュウ』を言うのは言いけど、もし若
い結婚していない女性に冗談で言ったら、首をちょん切るわよ。』
そのぐらい僕にだって分別はつきます。シャレはシャレでちゃんとした使い方をします。

ここでは本当に首を斬る風習があるみたいなので、そんな怖い事は言えません。

モージャルカンチュウ

[Tweet](#)[Check](#)

村の人たちは自分たちでお酒を作っています。
名付けて『ライスビール』

ある日茶葉を集めるトラクターで谷底の村まで行く時、途中にある、タバタリという村で、一緒にトラクターに乗っていた人が突然、
『お前酒飲めるか』
『少し飲める』
と答えてしまったので、村の家から白濁した液体を持ってきました。

『This is ジャル』訳すと『これはライスビールです』
とりあえず飲んでみる。

これが意外においしいです。
濁酒みたいで。

『ラムロー』（ネパール語でgoodという意味、マカイバリはインドですがこの地方の人たちはネパール語を話します）

という、『そうかそうか』と、とても嬉しそう。

そこで教えてもらった言葉が『モージャルカンチュウ』訳して『私はライスビールが飲めます。』

それからタバタリに行く度に。
『ナマスティー、カキ、モージャルカンチュウ』と言ってライスビール時々飲んでいました。毎日飲んでた訳ではありません。時々です。時々。

その事をホストファミリーのお母さんに話したら、
『どこでそんな事覚えたの』
『今度飲んできたら本気で殴るよ』
とマジで怒られる始末。

それから毎日『今日はどこに行くの』と聞かれ、
『タバタリ』と答えると、『また飲んでくるんじゃないでしょうね』
と疑われ続けていましたが、本当のところは時々飲でしたけど。

だっておいしいですから。

Drチェンではありません。

[Tweet](#)[Check](#)

「ヘイ、チェン」
「チェン」
「チェン」

僕が村を歩いているとみんな「チェン」と僕を呼びます。
なぜ「チェン」かと言いますと、どうやらインドで有名な芸能人の名前みたいです。

彼と僕の顔がとても似ているらしい。
似ているを、通り超してそっくりみたい。
いつも名前を聞かれると「ケン」と答えているのですが、みんな「ケン」と言わず、「チェン」と言います。
最後はあきらめて「チェンでいいわ」と言う始末。

日曜日に村の結婚式がありました。結婚式なので当然他の村からも人は来ます。
新郎が他の村出身なので、その親戚がやたらと僕に握手を求めてきます。

どうやら本気でチェンと間違えているみたい。

そのまま新郎の家まで行きましたが、そこの子供も「チェンだ、チェンが来た」と騒ぎまくる。

だからチェンじゃないんだよと思いつつ、黙ってれば偽物とばれないので、黙ってチェンを演じる僕でした。

カテゴリ：

post by 志村 賢一 | 日時: 2009.07.15 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

明日は明日の風が吹く > 2009年07月 アーカイブ

09.07.03

低温多湿

[Tweet](#)

[Check](#)



最近の深刻な問題は洗濯物が乾かないことです。
頭を抱えるぐらい、全然乾かない、洗濯物が。

なにせ曇りの中ですからね。乾かないと考えた方がいいのでしょうか。
でも地元民はみんな洗濯物を干してるし、多分乾くと思うのですが。
しかし、いったい彼らは何日洗濯物を干しているのでしょうか。

今現在は2日干しても全く乾きません。乾く見込みすらない。むしろ絞ったときより湿ってきていると思います。

いったいどうすればいいのでしょうか。家の中でたき火をし、その中に干すしか方法はないのでしょうか。

とうとう着るものがなくなりそうです。

インドの神、ガネーシャ様、どうかグーゾリンにも灼熱の太陽を御恵みください。
さもなければ、紅茶の葉を乾かす大型ファンの前に、私の洗濯物を干してしまいますよ。
そんな事をしなくてもいいように、どうか灼熱の太陽を

カテゴリ：

post by 志村 賢一 | 日時: 2009.07.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

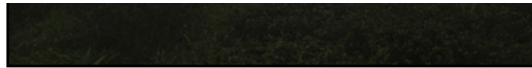
明日は明日の風が吹く > 2009年07月 アーカイブ

インドでの日課

[Tweet](#)

[Check](#)





インドまたもとんでもない山の中にいます。
どのくらい山の中だっけ？今いる所はあいにく雲の中です。
ちなみに標高は1800mくらいです。

他の三人はインドの暑さにてんてこ舞いだと思うけど、僕は今、韓国以来の寒さと戦っています。

最初は涼しくていい場所だと感じたんですよ。暑いところからきましたし。
でもずっと過ごしてみると、寒いんです。気温はどのくらいだか知りませんが、
多分18度くらいだと思います。

マレーシアに続きまたもやホームステイをしているのですが、泊まっている所はあいにくにもシャワーという文明の力は存在せず、あるのは寒さで冷えた水のみ、山上の村で川がないため水は
とても貴重、使用できるのは、バケツ一杯の雨水だけ、ここで大切になってくる事は、いかに少
ない水で体を洗うかです。

しかも夜は体を洗えません。なぜなら電気が洗い場がないから、一度試しに夜に入ってみたら、
そこは完全暗室を思わせるほどの漆黒の闇。
そのため朝、体を洗います。朝も寒いですが、入らないよりはましです。
体を洗う時は心の中で本気の気合いを入れます。
決して大声は出しません。心の中だけです。
大声を出していたら、たちまち『あそこの家にいる日本人はクレイジーだ』と言われかねませ
ん。

だからこそ毎朝、心の中だけで、本気の気合いを入れる。それがインドでの日課です。

カテゴリ：

post by 志村 賢一 | 日時: 2009.07.03 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)